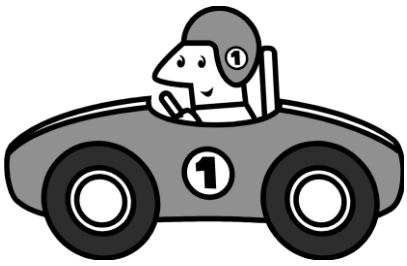
校長室雑記

笑ってごらん

第 542 号　H.28.2.23 発行

～今日のことば～
いつの時代でも、やる奴はやるし、
やらない奴はやらない。
（矢沢永吉）

◇◆前号で『解けたらＩＱ１５０以上！』という見出しのついた問題を紹介したけど、出来た？　『６＋４＝２１０　９＋２＝７１１　８＋５＝３１３　５＋２＝３７　７＋６＝？』・・・・・答えは『１１３』。せっかくなので解説は省こう。お互いで話のネタにして！　◇◆13 日(土)から 17 日(水)まで第 63 回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が行われた。本校からは川辺チームに中村太悟先生が出走した。2 日目 3 区区間 2 位、4 日目 4 区区間 5 位、5 日目 6 区区間 2 位という成績でチームに貢献。毎年この 5 日間は数々のドラマが生まれる。日頃の練習では調子が良かったのに、当日気負いすぎてオーバーペースになり失速する選手も見られる。一方、各チームの選手起用や大会にかける思いなど連日新聞にも取り上げられていた。川辺チームにおいても、かつて中村先生が本校生だった頃には福吉公輝先生との『師弟タスキリレー』というニュースが報じられたことも。　◇◆19 日(金)は鹿児島県准看護師資格試験が行われ、本校看護学科専門課程 2 年生も受験した。恐らく緊張のレベルは国家試験ほどでは無かったと思うが、国家試験同様無事終了できて良かった。昨年までは「准試→国試」の流れだったのに、今年は逆になった。受験生自身としては受験に対する気持ちを維持するのが大変だったろうと思う。国家試験が終わって気持ちが萎えてしまい、結果、国家試験には合格したのに准看護師資格試験には不合格、なんてことにならなければ良いが･･･。　◇◆近年、自動車関連技術の進化が加速している。以前は、車に乗る際ドアに鍵を突っ込んで解錠していたが、最近はボタン一つで「ピピッ」と開けられる(もう当たり前になってしまった感)。他人の車に乗せてもらった時、ハイブリッド車などはエンジンスタートに鍵は要らない。スタートボタンを「ポチッ」。事故防止のためのエマージェンシーストップ機能や、道路のカーブに合わせてハンドルの自動制御を行うコースアシスト機能、縦列駐車をし易くするためのオーバービューモニターなどを標準装備として搭載している車種もあり、さらに言えば、完全自動制御システムも一部完成している。そして、今更ながらではあるが、カーナビゲーションシステムも当たり前になっている。



◆そんな昨今、こんなニュースが飛び込んできた。日本経済新聞によれば、スウェーデンのメーカー：ボルボ社は 2017 年から車の鍵を無くすと 19 日発表した。ユーザーはスマホの専用アプリをデジタルキーとして使う。近距離無線通信技術ブルートゥースを使い、ユーザーが車の近くに来ればスマホの画面で施錠・解錠ができ、エンジンもかけられる。なんとも便利である。キーレスで車に乗り込み、ナビに行き先を入力、そして自動運転。まさに米ドラマ『ナイトライダー』の「ナイト 2000」そのもの。この調子でいけば、運転免許自体が無くなってしまうんじゃないか、とも思えてくる。おいおい、加世田自動車学校を潰す気か!?

～・

感謝道

◇◆Facebook navi からの情報。朝起きると、しばらくはぼんやりして動く気がしない･･･。そんな朝の頭が冴えない時間にベッドや布団の上で 1 分間「正座」をするだけで姿勢が矯正され、さらにウエストが細くなる効果も期待できるという。正座には身体のバランスを整える効果がある。職場で椅子に長く座る生活を続けていると、骨盤が後ろに倒れて歪み、猫背など悪い姿勢になりやすくなる。この骨盤の歪みはポッコリお腹の原因のひとつ。正座の際、足のかかとが骨盤を起こしてくれるため、背骨が矯正される。また、正座により、胃や腸を正しい位置に保持する「腹横筋(インナーマッスル)」を鍛え、内臓が正しい位置に戻ることでポッコリ解消！